

かながわ商店街新聞

●発行所—社団法人 神奈川県商店街連合会

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター3F Tel.045(633)5184

http://www.kenshoren.com/ ●発行人—和田 義盛 ●年5回発行 1部:200円/年間:1,000円

NO.333



今年のGWには厚木で「神奈川フードバトル in あつぎ」が開催された

大規模なイベントへとつなげていく事例である。厚木市商連では「厚木シロコロ・ホルモン」という豚ホルモン

今、商店街発のイベントが県内各地で盛り上がっている。イベントは使い古された集客手法だという意見もあるが、やはりイベントをすれば、その街は元気になる。それがイベント当日だけだとしてもだ。商店街事業といえば、まずはイベントというところも多いだろう。地域の催事を兼ねた季節のお祭りなどを商店街が担っているケースも多い。今回は県内各地で新たに起こっている「テーマ性をもった地域イベント」について紹介する。「特産品」や「記念事業」など、何かのテーマをもとに、市商連が音頭をとって、

商連は多くの商店街、個店をまとめていかなければならない。皆が参加できて大きな運動へと繋がるような事業を行っていくには、テーマや活動場所が必要不可欠だといえる。(次ページへ続く)

いづれの事例についても、テーマを設定することにより、多くの商店街、個店をひとつにまとめ、それを消費者に対する大きなアピールにつなげている点が共通している。どこの商連もイベントや事業にかけられる予算が減ってきていることは事実だろう。そうになると、すべての会員に恩恵のある事業を提供するよりも、この二つの事例のように、商連はテーマと場を用意するに留めるのも効果的だ。個別商店街や、その傘下の個店は、テーマに合わせて独自にセールを行うなどして自由に対応すれば良いのだから。

イベントで街を盛り上げよう！
テーマイベントで、地域を一つに
「県内の商店街イベント」

焼きが脚光を浴びていることにちなんで「神奈川フードバトル in あつぎ」というイベントを開催するようになった。今年の五月で二回目だが、年々来客が増え、厚木の街の賑わいに貢献してきている。

1頁
●イベントで街を盛り上げよう！

2頁
●神奈川フードバトル in あつぎ
●横浜開港150円商店街

3頁
●県内のその他大きな商店街イベント
●教えて！身近な税務相談②

4頁
●商店街活性化支援事業がスタート
●コラム 商店街活動を考える①

5頁
●21世紀のまち元気なお店「笑喰畑 そいの」
●エコな活動大募集！

6頁
●会員拡大事業をどう考えるか

7頁
●本紙に対するアンケート

8頁
●第39回通常総会を開催
●岡野副会長、県民功労者表彰を受章

県商連 推せん会社

商店街の活性化をお手伝いします！

お客さんにオリジナルの景品を差し上げたい！

パルティ・記念品

㈱アイエンス

0463-82-7511

街内を装飾やバナー・のぼり・幕などで盛り上げたい！

ディスプレイ・看板

㈱五光W小田原店

0465-24-1255

街路灯をつけたり、今ある街路灯を修理したい！

街路灯

㈱サンライト中央

045-332-5301

アーケードをリニューアルしたい！

アーケード

㈱日米アトム

03-3260-5131

街路灯をつけたり、今ある街路灯を修理したい！

街路灯

日本街路灯製造㈱

03-3471-6842

防犯カメラを付けたり、セキュリティ対策をしたい！

防犯カメラ

㈱日立ビルシステム

045-651-2712

商店街を綺麗に舗装したり、舗装を修理したい！

道路整備

前田道路㈱

045-662-4121

チラシやパンフレットの印刷、ホームページ制作など！

印刷

㈱ポートサイド印刷

045-776-2671

厚木シロコロ・ホルモンと、 「神奈川フードバトルinあつぎ」

(厚木市商店会連合会 主催)

厚木市商連は、食によるまちづくりの一環として「厚木シロコロ・ホルモン」を開発し、それが今では全国的な注目を浴びている。同商連はこのシロコロ・ホルモンをさらに普及させるために様々なイベント活動やPRを行っている。

五月五日と六日には「神奈川フードバトルinあつぎ」というイベントを厚木公園で実施した。今年で二回目の開催。

内容は、シロコロ・ホルモンのような、安価で食べられる庶民の料理「B級グルメ」を、神奈川県内各地から集めて、お客に食べてもらおうというものである。

「厚木バーガー」や「平塚とりまん」、「海老名のとん串」など、集まった二十品のB級グルメの中から、お客の投票でチャンピオンとなるフードを決めた。



大久保顧問は「マスコミに対する理論武装と、その食にまつわるストーリーを考えておくことが大事」と話した。

今回のチャンピオンは「海老名のとん串」だった。また「厚木バーガー」には当会から「神奈川県商店街連合会会長賞」を贈呈した。雨天にも関わらず、当日は多くの人で賑わい、二日間で十三万五千人もの人出となった。

このイベントは、平成十八年から行われている「B-1グランプリ」の県内版として企画された。ご当地B級グルメの日本一を決めるという全国イベントで、シロコロ・ホルモンは十九年に初参加で五位、昨年二十年には見事、優勝を勝ち取った。

それを機に、シロコロは各マスメディアに取り上げられるようになり、人気はうなぎ登りに上がっていった。さらに、その「B-1グランプリ」自体を厚木で開催することが決まり、機運は高まり続けている。

市商連の大久保顧問(前会長)も「食べるものなら、遠くからでもお客を呼べる」と、この成功を喜んでいる。

● ●

そもそも「食を通じてのまちづくりをしよう」と、シロコロにスポットを当てたのは、市商連のメンバーで構成する研究会「街づくり推進プロジェクトチーム」だった。

メンバーは厚木の味となる食材を選ぶために何度も検討を重ねていった。その中で、古くから市内で庶民の味として親しまれていた「豚ホルモン」が見出された。

地元には食肉センターがあるた

め、厚木市内の焼き肉店では、新鮮なホルモンを食べることができる。中でも大腸の部分は、割かずに管状のまま焼いて楽しめるのだ。それが「厚木シロコロ・ホルモン」(商標登録)となった。

統一されていなかった名称を「シロコロ・ホルモン」とし、メンバーは自ら調理方法を学んで、イベントなどに店出し普及に努めていった。そして全国大会である「B-1グランプリ」の存在を知り出展を決めた。それに合わせて「厚木シロコロ・ホルモン探検隊」(中村昭夫代表)という現在の推進主体が生まれたのだ。

「その土地ならではのユニークなものを育てる」という活動が非常に上手くはまったケース」と話すのは、大久保顧問。昔から厚木にあったものを、盛り上げて育てていき、厚木市のシテイセールスに結びつけていければと考えている。

今後は市商連としても「厚木シロコロ・ホルモン探検隊」を支援しつつ、自らも動き、活動を盛り上げていくつもりだ。お客に繰り返し来街してもらえようように、いかに定着させていくかも課題である。

中村さんも、「今後もシロコロを盛り上げていくには、市内の各店が美味しいものを出していくしかない」ときっぱり。自分たちの活動は「厚木の食」のPRであり、あとは個店が踏んばるところ、と語る。

市商連や実動グループが音頭を取って活動を興し、それに個々の主体である個店や商店街が参加していく。厚木の事例は、市商連と商店街、個店などのさまざまな主体がうまく役割分担をしている好例だ。

開港150周年記念に合わせた 「横浜開港150円商店街」

(横浜市商店街総連合会 主催)

横浜市は今年、開港から150年を迎えるため、様々な記念事業を行っている。横浜市商連(岡野誠一会長)もそれに合わせて「横浜開港150円商店街」という全市あげてのイベントを企画した。今年度、六月十三日の実施を皮切りに、二月十三日までに、全五回実施していく。

イベントの内容は、参加する商店街の個店が一斉に「150」という数字をテーマにしたセールを実施するというシンプルなものである。しかし参加する商店街は五月末の時点で113商店街にもなった。これらの商店街の個店が一斉に「150」を掲げれば、消費者への強力なアピールとなることは間違いない。

横浜市商連は、この節目の大イベントを成功させるために様々な活動を行っている。まずは先行事例である、山形県新庄市の「100円商店街」の研究である。「その企画立案者ともいえるNPO法人、AMPの斉藤一成局長を二度招いて講演を行い、個店での実施方法も含め手法を浸透させていった。

「100円商店街」とは、商店街全体を一軒の百円ショップに見立て、全店頭で百円コーナーを設置するというもの。これで祭りの賑わいを演出しつつ、個店の売上アップをはかる。

実施のポイントは2点。百円にした商品の売上よりも、店内に足を踏み入れさせる

ことと、それによるついで買いを誘発することである。イベントと個店の商売が直結しており、横浜市商連は、これを「150円商店街」として全市内で実施することに決めたのだ。

六月からの実施を前に、試行も兼ねて先行イベントも行った。舞台となったのは、鶴見区のつくの商店街（協）だ。

四月十一日の土曜日に実施し、イベント参加店は150円引きをしたり、1500円で販売など「150」をテーマにした、一斉セールを行った。この日だけの目玉商品なども用意し、同じ日にクイズ大会や、ミュージシャンを招いたライブなども行って、賑わいを演出した。

街角で消費者を対象にアンケートも取った。その内容を要約すると、「普段商店街

県内のいくつかの市区町商連では、他にも大きな商店街イベントがあります。それらを簡単に紹介します

■平塚市商店街連合会

七夕まつりと言えば平塚というほど、全国区になった「湘南ひらつか七夕まつり」は、今年で第五十九回。七月二日から五日の四日間の実施。

（県商連は、イベントに対し後援を行い、七夕飾りコンクールでは県商連会長賞を交付しています）

■相模原市商店街連合会

数年前から始めた「サンママまつり」が好

をよく利用している人（86%）が「チラシ（52%）」などを見て来街し、「初めてのお店（43%）」に入り、「セール対象商品以外を購入（90%）」し、「今後も来てみたい（96%）」と回答している。

これを見る限り、先行イベントは成功し、消費者からはかなり良い反応を得られたと言え。

商店街内の個店に対して行った同様のアンケートでも「いつもより客足が増え（69%）」、「顔なじみ以外が来店（70%）」し、売上げも「普段の土曜日よりも増えた（48%）」と回答。約五割の個店がイベントでの手応えを感じていた。

開港150周年というテーマを活用し、横浜市商連は、商店街から大きな運動を興し、賑わいを生み出そうと尽力している。

評。今年も九月に実施予定。

内容は、姉妹提携市の岩手県大船渡市から水揚げされたばかりの旬のサンマを直送し、市内の商店街で一斉に振る舞うというもの。各目の商店街で焼いたり、用意するサンマは約一万匹程度。市商連が買い取り各商店街に提供する。

また同様に一斉にリングを振る舞う「リングまつり」も十一月に実施予定。こちらは長野県蓼科高原産のリングとなる。

※県商連でも、イベントの後援や、コンクールでの「県商連会長賞」の付与として、記念品を進呈するなどして、市区町商連をサポートしています。何かイベントやコンテストなどを行う場合はお気軽に事務局までご相談ください。

教えて！ 身近な税務相談② 「業績が悪化した場合の、法人税の還付請求」

Q 前年度までは業績は好調でしたが、今年度は金融危機のあおりを受け売上が大きく落ち込み、資金繰りが悪化しています。資金に苦しいのですが何か良い案はありませんか？

A 税務署に法人税の還付請求書を提出し、前年度支払った法人税を返してもらうことはいかがでしょうか。
業績が悪かった場合には一定の要件を満たせば前年度に納めた税金を返してもらうことが、今年からできるようになりました。例えば、前年度1,000万円の黒字で220万円税金を支払っていた会社は、今年度も1,000万円の赤字であれば前年度納めた税金220万円を取り戻すことが出来る可能性があります。

中小企業の欠損金の繰戻し還付

平成21年度税制改正により、中小法人においては平成21年2月1日以後に終了する事業年度に生じた欠損金額について法人税の還付請求をすることができるようになりました。

中小法人等とは次の法人をいいます。

1. 普通法人のうち各事業年度終了時において資本金の額もしくは出資金の額が1億円以下であるものもしくは出資を有しないもの（保険業法に規定する相互会社等を除く）

2. 公益法人等
3. 協同組合等
4. 人格のない社団等

ただし、この制度の適用を受けるには一定の要件を満たす必要があります。

- ① 還付所得事業年度から欠損事業年度の前事業年度まで連続して青色申告書である確定申告書を提出していること
- ② 欠損事業年度の確定申告書を青色申告書により提出期限内に提出していること
- ③ 確定申告書提出時に欠損金の繰戻しによる還付請求書を提出していること

注意すべき点は③です。確定申告書提出時に還付請求書を税務署に提出しなければいけません。この還付請求書の提出を失念してしまうとその後提出しても税金を返してもらうことができません。

※本文はわかりやすさを重視しているため細かいことを省略し大まかに書いております。当該制度の適用にあたりましては、必ず顧問税理士にご相談下さい。



（公認会計士・税理士・行政書士 河野貴浩）

川崎・登戸東通り商店会と、明治大学のコラボレーションを支援 商店街活性化支援事業がスタート

商店街に賑わいをもたらす活性化していくために、県商連では新しく「商店街活性化支援事業」を今年度から始める。

これは、商店街が、地域のNPOや大学などの地域団体と連携しながら行う活動を支援するものである。

今年度は第一弾として、川崎市多摩区の「登戸東通り商店会」にスポットを当て、大学と連携した商店街活動の支援を行う。

『登戸東通り商店会 & 明治大学農学部』

登戸東通り商店会の活動を、近郊の明治大学の農学部財政金融論研究室・本所ゼミの学生たちが手伝う形で始まった。

登戸の地域住民同士の顔の見える関係をつくり、その地盤を構築するのが目的であり、具体的には年四回実施している夜のイベント「のぼりとわくわくナイトバザール」の機会を活用していく。



4月のわくわくナイトバザールでは駄菓子屋のブースが出店された

同商店会は歴史ある街であり、これから区画整理が行われる予定の地区にある。地域住民との密接な関係の地盤づくり

を考えたときには、今年は機が熟しているというわけだ。

学生たちは企画段階から参加し、カラーのチラシを担当し作成した。四月二十五日のイベント当日にも駄菓子屋のブースを出店して参加し、あいにくの雨天だったが、出だしはまずまずの様子だった。

次は六月二十日。地球温暖化防止啓発活動の「八都県市エコウエーブ」に合わせ、街路灯を消して蠟燭の明かりだけになるナイトイベント「キャンドルナイトフェア」を行う。

本所ゼミは、昨年当会の商店街実態調査に協力し、同商店会の江藤文雄会長と知り合った。神奈川県商店街競争力強化支援事業からも補助を受けることができた。江藤会長は「やはり、学生ならではの新しい発想で商店街を盛り上げてもらいたい」と話している。

今後も県商連は、一年を通して同商店会のサポートを続けていく。

『街の個店を助ける！ 組織ぐるみのお店元気UP術』

今回の商店街活性化研修会では、中小企業診断士の高橋幸司氏をお呼びして、実際に元気になったお店の事例とそのヒントを学びます。

日時：平成21年7月16日（木）

13：00～15：00

場所：コンファレンス横浜

（横浜市西区南幸2-8-9）

ブライト横浜8F、横浜駅から
徒歩5分、東急ハンス横浜店斜め前）

講師：中小企業診断士 高橋幸司 氏

参加費：無料

主催：神奈川県商店街連合会、
神奈川県産業振興センター

セミナーのお申し込みは、県商連事務局
（045-633-5184）まで、お電話か、もしくは
HPの申込フォームからご連絡をお願いします。

コラム

商店街活動の 進めかたを考える

第一回 平塚あきんど塾

県商連は、活性化のために力を尽くしている商店街や事業者グループをモデル事例として注目し、地域を巻き込みながらの共生・協働の仕組みを模索している。

「平塚あきんど塾」は、平塚市の若手事業者の有志が、逸品開発やイベント運営などを行って切磋琢磨しながら、地域商業の発展を目指し活動している。

今までに販売イベントを駅前の広場で毎月開催したり、「とりまん湘南八鶏」などの商品開発も行ってきた。また同じ若手事業者を集めた交流会の開催も行った。

商店街の枠組みを超えた活動を今後はどうのように展開していくのか。リーダーの、かどや食器店・升水洋司さんと、松鱈亭・松井昭憲さん、鳥仲商店・鈴木崇さんメンバー三人に、商店街との関係と、今後の展

望について話を聞いた。

『何か活動したい人を育てる自由な組織でありたい』

・あきんど塾はイベントや商品開発などを行うためのグループであるから、個々の販売の幅を広げるために自由に参加してもらえたらと思う。（升水さん）

・商店街の会合では、自分より年上の人がほとんどで、同じ世代の人がいない。後継者不足で困っているお店が多いようだ。だからこそ、あきんど塾で後継者となる若手事業者を育てる活動をしていきたい。（松井さん）

『平塚ブランドを立ち上げたい』

・当商店の「とりまん」は大変好評で、年々売上を伸ばしている。これはあきんど塾の活動の成果といえる。今後も商品開発には力を入れた。（鈴木さん）
・やはり平塚のブランドとなるような商品を作りたい。（松井さん）

『有志みんなです市全体のアピールを』

・他市に行って初めて、平塚市の知名度の低さに気がついた。仲間の店のことも含めてもっと平塚をPRしたい（鈴木さん）
・催事では好評なので、そこから自店や市内商店街にいかん足を運んでもらうのが課題だ。人通りが年々減少しているのだから賑わいを出したい。（松井さん）

※このコーナーでは、商店街の会員拡大事業に関する事例を、様々な角度から当事者の言葉を交えて紹介していきます（不定期）

21世紀のまち 元気なお店

いんしよくばたけ
笑喰煙

そいの (綾瀬市)

街から人通りが減っているという声がよく聞かれる。お客に店に来てもらわないと商売が成り立たない飲食店なら、苦境はなおさらだ。しかし、それでも地域には住民がいて生活している。彼らに来て店してもらえれば、お店は元気になるはずである。それを実践し地域のお客から支持されているお店の一つが、綾瀬市の「そいの」である。「笑喰笑喰」として楽しい空間をつくる同店を訪ねて話を聞いた。



そいのの皆さん（前列左が添野絹夫さん、後列左が飯田晶子さん、右列が妹さんご夫婦）

「そいの」は、ダイエー綾瀬店の目の前に位置するコンクリート打ちの洒落た外観を持つ居酒屋である。二階フロアが客席となっていて、宴会席と少人数用のカウンターが用意されている。店内もセンスの良いレイアウトで、どんな世代の人も居心地良く過ごせる空間がそこにある。

店の自慢は、なんと言ってもハンバーグやビーフシチュー、フライなどの洋食系の料理である。オーナーシエフの添野絹夫さん

んがつくる洋食は、創業した三十五年前から、ずっと守り続けてきた手作りの味だ。もともとは「和食レストラン」として始めた店を十二年前に居酒屋に転換した。だから、今でもしっかり食べられる料理が充実しているため、家族連れのお客も多い。老若男女さまさまなお客が来るのも同店の特長となっている。

お客は飲食運転の規制強化のこともあり、徒歩圏内の住民が中心だという。すぐ近くにある小学校や幼稚園の教員たちやPTAなど親たちの宴会などの需要も大きい。

「宴会で出す料理は、飽きられないように季節ごとに変えて力を入れています」と話してくれたのは、飯田晶子さん。絹夫さんの長女で、妹さん夫婦とともにお店の元気の中心となっている。

とにかく地域の人や常連客ばかりだからと、飽きられない工夫とサービスも重要だ。同店では年に一度しか作らない「幻のカレー」というメニューもあり、常連の中には毎年楽しみにしている人も多いという。お店のある場所は駅から遠く、交通の便が良いとは言いがたい場所だ。インターネッ

トなどの広告は、お客に過剰な期待を抱かせるため出していない。それでもお客はやってくる。既存のお客が新しいお客を連れてきたり口コミでお店の宣伝をしてくれているのだ。

お店の良さを一口で言うなら「アットホームさ」だと晶子さん。家族経営の良さを生かした、かたくなしくない気楽な雰囲気と美味しい料理が、地域の人たちを惹きつけている。昨年から不景気は、客足に少し影響したが、最近では徐々に戻ってきたという。

今はお金を出せば、何でも食べられる時代である。そんな中で「素材を活かした昔ながらの素朴な味を守りつつ、それに一味加えたものをリーズナブルに提供し続けた」と話す晶子さん。そして数年前に亡くした母親のことを思い「家族経営だから、誰かが倒れると立ちいかない。健康は何よりも大切です」としみじみ。

「そいの」の味は二代目に引き継がれ、そして地域の味として綾瀬のまちに残っていくことだろう。

DATA

いんしよくばたけ
笑喰煙

そいの (居酒屋)

住 所：綾瀬市寺尾中1-8-1

電話番号：0467-78-1740

創 業：昭和49年

床 面 積：約60坪

営業時間：17:00~24:00

定 休 日：月曜日

所属商店街：綾北商店会

エコな活動大募集！

商店街のエコ活動を表彰します

「ストップ温暖化」「一村一品」大作戦

リサイクルやマイバック運動、緑のカートンなど地球温暖化を防止するための活動を応募してみませんか。

神奈川県地球温暖化防止活動推進センターは、環境省の委託事業として「一村一品・知恵の輪づくり」の一環として、県内から広くエコ活動を行っている団体を表彰するためにその応募を受け付けております。

【応募期間】 7月1日～9月30日

(消印有効)

【応募資格】

ストップ温暖化のために活動しているグループ。(商店街、商店街連合会いずれも可)

【応募方法】

「応募用紙」にご記入の上、事務局宛て郵送。

応募・問い合わせ先

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター

特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター

〒221-0835

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民センター3階

TEL 045-321-7453

FAX 045-321-7454

提言

会員拡大事業をどう考えるか

相模原市商工会連合会 顧問 秋葉 秀二



『商店街を守ることは地域の人たちの暮らしを守ること』

車を持たない高齢者や障害者が買い物ができないという状況が急速に広がっています。街は郊外に移り、中心街はシャッター通り化してしまいました。が、車社会の現在、自動車は一家に二台以上の所有があり、車のある家庭では毎日の生活には何ら問題はないでしょう。しかし車のない生活を考えてとき、高齢者や障害を持つ方は現在地に住み続けられるでしょうか。地域の小売店、商店街を守っていくことは自分自身の生活を守っていくことにつながっているのです。

このことは消費者へのアピールではなく私たち個店への、商店街への警鐘なのです。引き売りの豆腐屋さんを見かけませんか？逆に生鮮三品のお店は減ってはいませんか。消費者を呼べる店が元気をなくし全体としての活気がなくなっていますよね。

商店街の魅力アップ、会員拡大は現有会員の前向きの意見交換とやる気にかかっています。街に活気があれば空き店舗も解消

するでしょうし、新入会員も期待できます。

『新しいお店が開店したら、まずは挨拶に』
私たちの商店街に店を開いてくれた人はこの街に何か魅力を感じて来てくれたはず。『ようこそ当地区へ』。まず、開店したら挨拶に行きましょう。できれば不動産屋さんから事前に情報を得ておき、開店前に訪問する方が効果的だと思います。

新しい人はその土地の情報を欲しがっているものです。自治会、町の行事等商店会に加入することで得られる情報は大変貴重なものです。そういった情報を説明しつつも、押し付けにならないようにして相手の不安材料等も聞き出したいものです。

『相模原市商連では商店会への参加メリットを説明しています』

相模原市内の多くの商店会では、事業で出るゴミの排出を商店会単位で清掃業者と契約して個人契約のそれより格安で処理してもらっています。さらに皆で町の清掃活動を行い、一緒に街をきれいにしましょう、と訴えます。このことは、地元の自治会等との連携を強化することにもつながりました。メディアにも取り上げられましたが、ともかく店の前が、街がきれいになるのはいい気分でしょう。

また、一商店会だけではできない事業に

ついても訴えます。相模原市商連のいくつかの商店街では、コインパーキングの利用カードを市からの補助金で買い上げ、お客様に提供できるようにするサービスを計画中です。

保険や融資制度などもありますし、一緒に街作りをしていきませんか。話の材料はたくさんあります。入会を勧められた方が貴方の話を聞いて入会したくなるような話を、根気よく話してみたいかがでしょうか。

自分たちの街作りを真剣に考えておられる役員さん、自信をもって勧誘活動をされてみてはいかがでしょう。

神奈川県初

インターネットと電話相談を組合せた新しいスタイルの

神奈川県中小企業振興財団

介護相談サービス開設2009年6月中旬より

身近な商店街で利用者やその家族が介護相談サービスを

介護を抱える家族の方の
利用サイト

介護支援専門員や社会福祉士が
介護が必要な利用者や家族からの
相談をお引き受けします。

介護サービス事業者の紹介が必要な場合
業務提携している事業者で紹介次ぎをして
安心介護しています。



- 居宅介護支援
- 通所介護
- 訪問介護
- 福祉用具

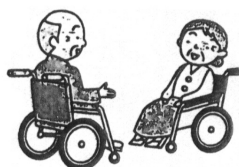
介護情報ネットワーク

神奈川県中小企業振興財団専用

近日中に【介護応援ダイヤルのご案内】をいたします

相談は一切無料です。
お気軽にお電話ください。

老人ホームの紹介
*相談に応じてその他のサービス
もお取り次ぎします。



神奈川県では 緊急経済対策を実施しています

県民や中小企業の皆様の安心・安定の確保に向け、緊急雇用確保、就業支援、職業訓練、中小企業への融資、農林水産業への支援、各種相談などを実施しています。

神奈川県緊急経済対策

検索

045-210-7495 (直通)
(土・日曜・祝日を除く、平日8:30~17:15)

神奈川県緊急経済対策本部事務局
商工労働部商工労働総務課

送付先 F A X : 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 8 5

本紙に対するアンケートにご協力ください

〔かながわ商店街新聞の内容について〕

よろしければ、以下のアンケートにお答えください。紙面をより良くしていくために参考にさせていただきます。（該当する項目にはいくつでも○を付けていただいて、FAXでお送りください）

1. 文字サイズを 11 ポイントに大きく読みやすく変更しましたが、読みやすくなりましたか？

①とても読みやすくなった ②読みやすくなった ③変わらない ④読みにくくなった

（○は一つだけでお願いします）

2. あなたが今とくに目を留めていて、関心のある記事は以下のうちどれですか？

①元気なお店（個店）の紹介 ②元気な商店街の紹介 ③セミナーや研修会の案内
④セミナーや研修会の結果レポート ⑤県商連の行事 ⑥県や市町村の制度や行事のお知らせ
⑦特集記事〔今回の場合はイベント〕 ⑧その他（ ）

3. 今、あなたが気になる話題であり、県商連新聞で取り上げて欲しい商店街の課題は、何ですか？

①魅力ある店舗が少ない ②お店の廃業や空き店舗の増加 ③商店主の高齢化
④商店街活動の担い手不足 ⑤商店街に業種が揃わない ⑥ハード整備が不足している
⑦立地や交通の便が悪い ⑧地域住民との交流不足
⑨その他（ ）

4. よろしければ、取材対象になりそうな商店街や個店を教えてください（自薦、他薦を問いません）

例：当商店街では、〇月から地域住民とのパトロール隊を結成し、地域の見守り活動をしている等

商店街／個店名：

活動の内容：

活動する時期と場所：

5. 本紙で掲載しているような情報を、どんな媒体で受け取りたいですか？

①商店街新聞のままで良い〔年 5 回／郵送〕 ②FAX で受け取りたい ③Eメールで受け取りたい
④とくに必要ない ⑤その他（ ）

----- アンケートはここまでです。ありがとうございました。-----

**アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で15組30名様に、
サッカーJリーグ「横浜マリノス戦」（8／1、日産スタジアム）のペアチケットをプレゼントいたします。**

★ サッカーチケットを希望する ・ 希望しない

ご氏名： _____ ※ 所属商店街： _____ ご連絡先／電話番号： _____

チケット送り先住所：〒 _____ ※

紹介・成約活動に
引き続きご支援よろしくお願ひ申し上げます。

NISSAN 横浜生まれ 神奈川育ち

We love KANAGAWA

（※チケットをご希望の場合はご氏名・住所は必須でお願いします）
（※サッカーチケットをご希望の場合は抽選日の7/10までにお送り下さい）

ご協力ありがとうございました！

本紙をよりよくしていくために活用させていただきます。

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

第三十九回通常総会を開催 県商連は公益社団法人を目標します

五月二十一日、神奈川中小企業センターにおきまして、当会の「第39回通常総会」を開催いたしました。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

【議案について】

平成二十年度事業報告及び収支決算(案)と、平成二十一年度事業計画(案)及び収支予算(案)、公益社団法人への移行認定申請に関する基本事項、それに伴う定款変更案などを議案について、ご承認いただきました。

【新三役等について】

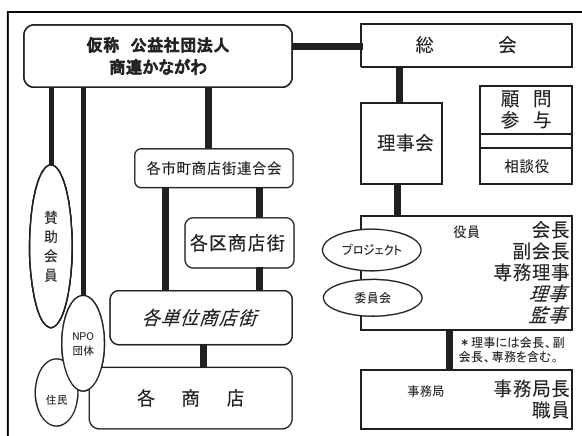
相談役 熊沢 昇(藤沢市商連理事長)
会長 和田 義盛(川崎市商連相談役)
副会長 岡野 誠一(横浜市商連会長)
副会長 吉野 栄輔(横浜市商連副会長)
副会長 高地 光雄(横須賀商連顧問理事)
副会長 升水 一義(平塚市商連会長)
副会長 大久保 浩(厚木市商連顧問)
副会長 増田 茂(県振連理事長)
専務理事 藤井 清一

【公益社団法人への移行について】

県商連は商店街の重要性を意義付けた神

奈川県商店街活性化条例を推進する団体として商店街を中心としたより良い地域社会の形成に向けて、より公益性の高い公益社団法人を目指します。

◎組織案



◎名称案

仮称 公益社団法人 商連かながわ

(県商連のイメージを継承し、神奈川県域をフォローする温かみのある名称をひらかなで表す。)

県内各地でプレミアム商品券が、続々と発行されています

相模原市や藤沢市など県内の各地で、いよいよプレミアム付き商品券の発行が始まりました。

一冊一万円で買えるセットが、実質一万一千円として使えるという一〇パーセントのプレミアムがついたものがほとんどで、藤沢や平塚などでは、商品券は市内加盟店のほか、数枚は市内の大型店でも使えるようになっていきます。

県内で最も発行額が大きいのは横須賀市の十億円。各市町村での利用が促進されることを期待します。

編集後記

今回は、本誌に関する読者アンケートを入れさせていただきました。日産自動車のご協力により、抽選でサッカー観戦チケットをプレゼントいたしますので、ぜひFAXにて皆様のご意見をお寄せください。

岡野副会長、

県民功労者表彰を受章

当連合会の岡野誠一副会長が、長年にわたり商業の活性化と地域経済の発展に優れた成果をあげるなど産業の振興に尽くした功績により、県民功労者表彰を六月八日に受賞いたしました。



緊急保証制度 実施中

※ご利用には市町村長の認定が必要です。また、認定の取得が保証や融資の決定ではありません。審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。

神奈川県信用保証協会は 中小企業の皆さまの 資金繰りを強力にサポートします！

保証商品の詳しい内容について、金融や経営のご相談などお気軽にお問い合わせください。



神奈川県信用保証協会

ホームページ <http://www.cgc-kanagawa.or.jp/>

横浜保証審査センター
TEL:045(681)7178

川崎保証審査センター
TEL:044(222)7811

湘南保証審査センター
TEL:0466(23)0792

県央保証審査センター
TEL:046(221)0633

相模原保証審査センター
TEL:042(752)0575